【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公表番号】特表2004-521014(P2004-521014A)
【公表日】平成16年7月15日(2004.7.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-027
【出願番号】特願2002-589308(P2002-589308)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６０Ｒ　22/46
　Ｂ６０Ｒ　21/32
【ＦＩ】
　Ｂ６０Ｒ　22/46
　Ｂ６０Ｒ　21/32

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月29日(2004.1.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　拘束力レベルをコントロール信号によって変更できる、シートベルトおよびベルト引締力制限装置（１６）を有する、自動車内の乗員拘束装置であって、前記ベルト引締力制限装置（１６）は、危険決定ステージ（１２）がエアーバッグの起動停止を示す信号を検出すると高拘束力レベルが設定されるようにコントロール信号によって作動されることを特徴とする乗員拘束装置。
【請求項２】
　エアーバッグ警告灯の信号は、エアーバッグの非活動を示す信号として検出されることを特徴とする請求項１に記載の乗員拘束装置。
【請求項３】
　ベルト引締力制限装置（１６）は、コントロール信号によって低拘束力レベルから高拘束力レベルに切り換えられることを特徴とする請求項１あるいは２に記載の乗員拘束装置。
【請求項４】
　拘束力レベルをコントロール信号によって変更できる、シートベルトおよびベルト引締力制限装置（１６）を有する、自動車内の乗員拘束装置であって、前記ベルト引締力制限装置（１６）は、衝突の強度および／または乗員の前方移動および／または乗員の体重が所定スレッショルド値より上にあり、多段階エアーバッグの少なくとも１段階が点火されていないと高拘束力レベルが設定されるようにコントロール信号によって作動されることを特徴とする乗員拘束装置。
【請求項５】
　前記ベルト引締力制限装置（１６）は、衝突の強度および乗員の前方移動および乗員の体重が所定スレッショルド値より上にあり、多段階エアーバッグの少なくとも１段階が点火されていないと高拘束力レベルが設定されるようにコントロール信号によって作動されることを特徴とする請求項４に記載の乗員拘束装置。
【請求項６】
　多段階エアーバッグは２段階エアーバッグであることを特徴する請求項４あるいは５に

記載の乗員拘束装置。
【請求項７】
前記ベルト引締力制限装置（１６）は、コントロール信号によって低拘束力レベルから高拘束力レベルに増加されることを特徴する請求項４～６のいずれか一項に記載の乗員拘束装置。
【請求項８】
拘束力レベルは、該拘束力レベルが事故の過程中に前もって低減された後に増加されることを特徴とする請求項７に記載の乗員拘束装置。